

田野町町制100周年記念事業基本構想

○【田野の心根】と【田野町民の力】

田野町は、明治21年に町村制の施行によって田野村として発足し、1920(大正9)年には町制を敷いて田野町に改称し、2020(令和2)年5月1日に町制100周年を迎えます。

100年を振り返ると、町の歴史と共に歩んできた人の歴史が大きく関わっています。平安時代、室町時代から町には、“人が夢を抱き、この地域で暮らし始め、豊かな町を目指した歴史”があります。江戸時代には、さらにその人の想う夢が大きく花開き、奈半利川流域の豊富な山資源を活用した林業が盛んとなり、木材の集積場、廻船業などが発展し、新しい農作物の作付けなど、人々は豊かな町づくりを進めた歴史がありました。

その歩みの中で田野町民は、“自分たちの力”で、奈半利川や池谷川の治水工事や台地の開墾を進めましたが、土佐藩の強硬な開発や大波・大洪水といった災害に見舞われるなど、決して平たんなものではありませんでした。それでも町民は支えあい、知恵を絞って町を守り、乗り越えてきました。

その田野町民の気質は、現代まで脈々と受け継がれてきています。清岡道之助(二十三士)も、攘夷や時代の流れだけでなく、自分たちの力で創りあげ、人と人の繋がりを大切に【田野の心根】があったからこそ、人を支え、夢を共にし、理想に向かい立ち上がったのだと思います。

大正から昭和、平成と、激動の時代を乗り越え、現在の町の発展があるのも【田野の心根】を持った人々がいたからこそ、成しえたものです。

これまでの歴史の中で、田野町に住んでいる人々が共に支えあい、夢を抱き、共に町を発展させてきた100年の軌跡は、まさに【田野町民の力】です。

○基本理念(基本的な考え方)

理想に向かい、人と人が助け合い、支えあい、町を創ってきた先人のこれまでの100年に感謝し、誰もが生涯を通じて幸せを感じる町を目指し、“人と人との繋がり”、“ありがとう”を大切に、次の100年に向け、歩みだすキッカケとなる町制100周年記念事業を実施します。

◆基本テーマ

100年を振り返り、100年先の田野をつくる

◆基本コンセプト

感謝をつなぐ

○基本方針(目指す方向)

基本理念を踏まえ、記念式典や記念事業を実施します。

- ・町制100周年を全町あげて祝祭感を創出します
- ・田野の魅力を再認識し、愛着と誇りを深め、次世代へ継承するとともに、広く発信します
- ・町民協働により、次の100年へ繋がる「町を発展させるための事業」を実施します

○事業期間

準備期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日

事業期間:令和2年4月1日～令和3年3月31日

○実施体制

庁内の組織である「推進本部」と町民、企業、団体が主体となった「実行委員会」を設置し、町全体で推進することとします。

◆町制100周年記念事業推進本部

庁内推進組織として、副町長、教育長、各課長で構成し、町制100周年記念事業の円滑な推進を図ります。

◆町制100周年記念事業実行委員会

町制100周年記念事業を実施するにあたり、各種団体等で構成する実行委員会を組織し、「100年を振り返り、100年先の田野をつくる」をテーマとして、具体的な実施計画を定め、町民の創意を集結し推進していきます。

○事業構成

◆記念式典

町政功労者の表彰を行うほか、町制100周年記念事業の中心的な行事として記念式典を実施します。

- ・記念作品制作…町内の子どもたちと、イラストレーター(墨絵)茂本ヒデキチ氏による、記念作品の制作
- ・100周年にかかる動画制作を行い、式典でお披露目します。

◆冠事業

既存事業を町制100周年バージョンで事業を実施します。

◆特別事業

町民の皆さんからの提案型の事業を実施します。

○広報・宣伝

- ・ロゴマークを制作し、印刷物や啓発物に掲載するなど広く事業の認知度を高めます。
- ・PRグッズを製作し、町制100周年事業及び田野町の認知度を高めるために実施します。
- ・ホームページのリニューアル及び町制100周年特設ページを開設し田野町の魅力をアピールします。
- ・新聞、テレビなどで町制100周年を告知し町外の方にもPRします。

○その他

- ・事業経費は、町の予算(補助金)の他、協賛金、寄付金など幅広く資金を募ります。
- ・全庁体制で、全職員一丸となって記念事業に取り組みます。
- ・全町民、企業、団体の積極的な参画を推進します。